

白石町まち・ひと・しごと創生 総合戦略

～ 農業と人情のまち“しろいし”が
輝き続けるために ～

令和2年3月改訂

佐賀県白石町

目次

I はじめに.....	1
1 趣旨	1
2 総合戦略の計画期間.....	1
3 総合戦略の検証・改善・改訂.....	1
4 総合戦略の体系図.....	3
II 基本目標、基本的方向、具体的な施策.....	4
基本目標①.....	5
本気！やる気！元気！しろいし！ ～若者が安心して働ける場をつくる～	
(1)数値目標.....	5
(2)現状と課題	5
(3)めざすべき方向.....	5
(4)具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)	6
1 企業や教育機関、公共的機関の移転の誘致による雇用の確保.....	6
2 新規就農者及び農業後継者の育成・確保	7
3 新しいことへ挑戦する人への積極支援.....	7
4 ふるさとで活躍する人材の育成.....	8
基本目標②.....	9
来てよか、見てよか、食べてよか、住んでよか、しろいし！ ～白石への新しいひとの流れをつくる～	
(1)数値目標.....	9
(2)現状と課題	9
(3)めざすべき方向.....	9
(4)具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)	10
1 白石町の魅力発信	10
2 定住促進、移住支援	10
3 地域観光資源の再発見	11

基本目標③	12
出会いに感謝！目指せ子宝のまち、しろいし！	
～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～	
(1)数値目標.....	12
(2)現状と課題.....	12
(3)めざすべき方向.....	12
(4)具体的な施策と重要業績評価指標(KPI).....	13
1 結婚推進対策の充実.....	13
2 出産支援.....	13
3 子育て支援.....	13
4 教育環境の整備.....	14
 基本目標④	 15
くらしに豊かさを、地域に絆を、人の温もりを感じるまち、しろいし！	
～まちに活力をもたらし、地域をみんなで盛り上げる～	
(1)数値目標.....	15
(2)現状と課題.....	15
(3)めざすべき方向.....	15
(4)具体的な施策と重要業績評価指標(KPI).....	16
1 町民協働によるまちづくり.....	16
2 安全・安心で快適な住みよいまちづくり.....	16
3 誰もが活躍できるまちづくり.....	17

I はじめに

1 趣旨

白石町の人口は、年々減少を続け2010年(平成22年)には25,607人で、2040年(平成52年)には17,711人、2060年(平成72年)には12,899人まで減少すると推計されています。(国立社会保障・人口問題研究所平成25年3月発表)人口減少が地域経済の縮小を招き、若者の町外流出とまちの活力が衰退し、さらに地域経済が縮小することにより、人口減少を加速させるという負のスパイラル(悪循環の連鎖)を克服しなければならないのは言うまでもありません。

このため、まち・ひと・しごと創生法(平成26年法律第136号)第10条の規定に基づき、白石町人口ビジョンにおける人口の将来展望等を踏まえ、白石町が今後行うべき具体的な施策を、白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略として策定し、その実行により人口減少問題に取り組んでいくものです。

この白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略は、平成27年度からスタートした第2次白石町総合計画の下位の人口問題等に関する個別計画として位置付けられます。

2 総合戦略の計画期間

総合戦略の対象期間は、平成27年度(2015年度)～令和2年度(2020年度)の6年間とします。

3 総合戦略の検証・改善・改訂

総合戦略の策定、効果検証及び改善に当たっては、白石町まち・ひと・しごと創生推進会議(以下「推進会議」という。)の意見を反映させ、白石町議会(以下「議会」という。)の審議を受けた上で策定しています。

総合戦略は、基本目標の数値目標や具体的な施策に係る重要業績評価指標(KPI)の達成度により、白石町役場だけでなく推進会議による検証及び議会による審議を受け、改善を重ねる仕組み・PDCA(Plan(計画)・Do(実行)・Check(評価)・Action(改善))サイクルを確立します。

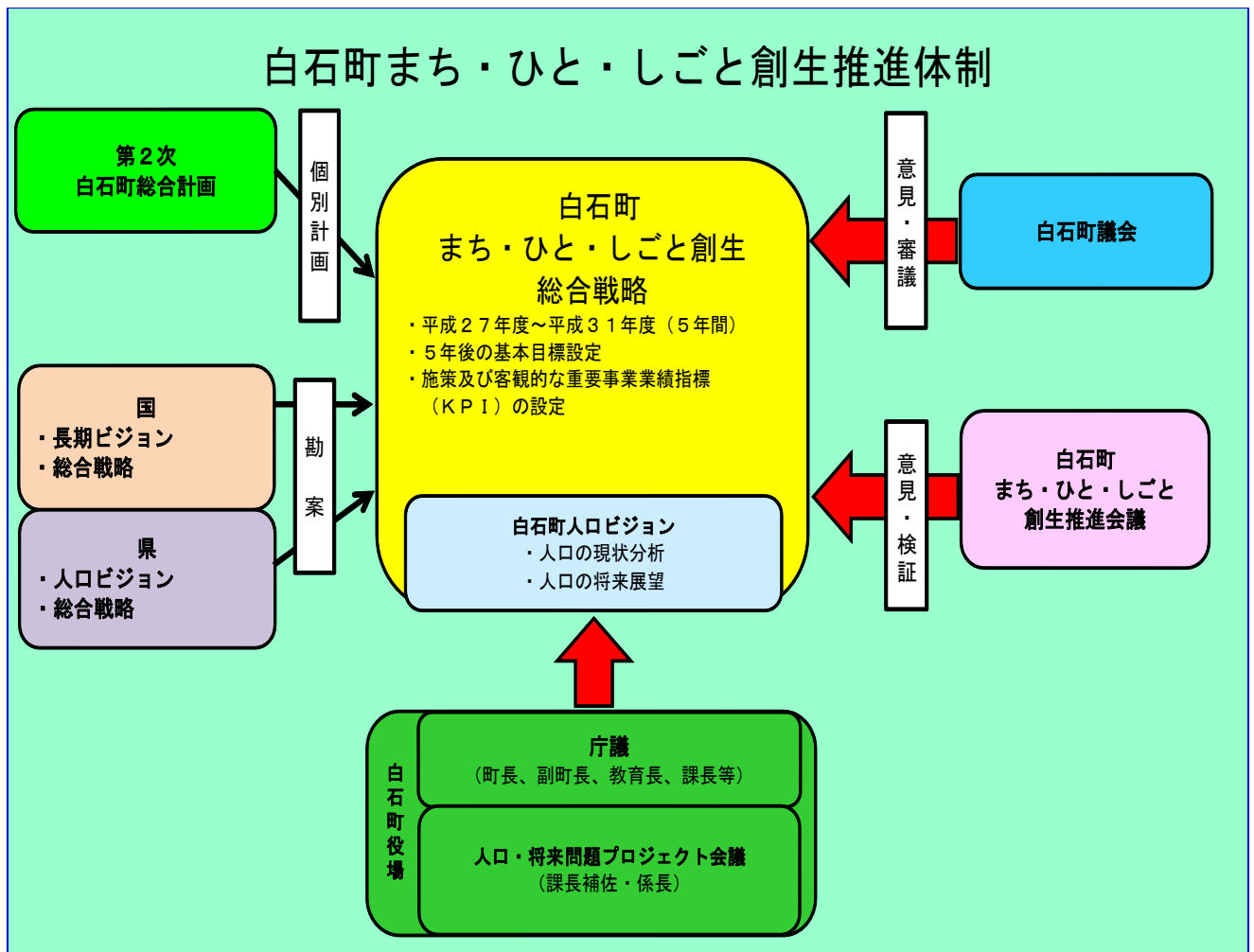
また、効果的な施策の追加が必要な場合などは、柔軟かつ積極的に対応するため、年度中途であっても改訂し、推進会議及び議会に報告します。

※KPI

「Key Performance Indicator」の略。重要業績評価指標。各事業の目標達成度合いを測る指標となるもの。

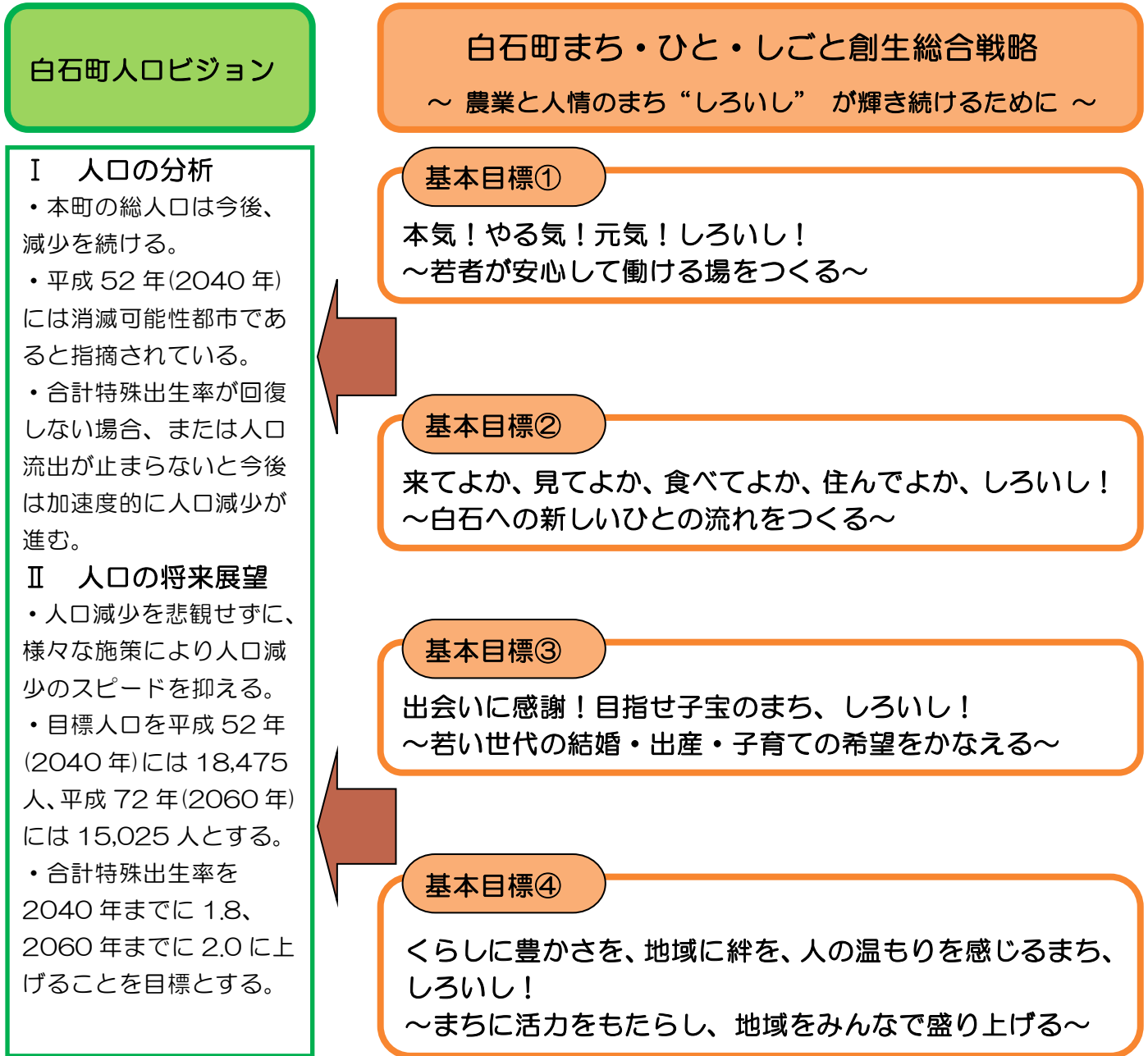
● 施策追加の例

- ・ 国、佐賀県、近隣市町及び関係機関との連携事業
- ・ 法制度の新設等による地方創生関連補助事業等
- ・ 町民協働による効果的な取組
- ・ 国が進める「小さな拠点」の形成(集落生活圏の維持)



4 総合戦略の体系図

白石町人口ビジョンで示した将来の方向性に沿って、白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略では、以下の4つの基本目標の実現を目指す。具体的な施策に取り組むことで、白石町人口ビジョンの将来展望の達成に努めます。



Ⅱ 基本目標、基本的方向、具体的な施策

各基本目標における数値目標や重要業績評価指標(KPI)は、白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略における具体的な施策の実行により達成すべき目標を記載しています。

したがって、民間企業や個人による雇用(新規雇用者数、女性従業員数)など、町で捕捉できないものは対象外となります。

基本目標①

本気！やる気！元気！しろいし！
～若者が安心して働ける場をつくる～

(1)数値目標

【数値目標】

対象項目	数値目標
新規就農者数	5年間で170人
新規雇用者数	5年間で75人

(2)現状と課題

- 本町の平成25年(2013年)の社会減による人口減少は163人ですが、年齢階級で見た場合、15歳以上30歳未満の転出超過が145人となっており、若者の町外流出が目立ちます。
- 主に進学や就職が原因の1つと考えられるが、平成26年度に実施した町内の小中学生へのアンケート結果から見ても約25パーセントの児童・生徒は「将来白石町に住みたいと思わない」と回答しています。
- その理由として、「将来なりたい職業がこの地域にないから」との回答が47.2パーセントとなっています。
- 次代を担う若者の流出は白石町にとって大きな痛手となるため、魅力のある職業など安心して働ける場をつくり、若い世代の町外流出を食い止める必要があります。

(3)めざすべき方向

- 国・県・周辺市町と連携した企業誘致などにより雇用の場を確保し、そこに必要な人材を育成・確保し、UIJターンを促進します。
- 白石町の既存企業を育成・支援し、また、新しく起業することへのチャレンジや6次産業化に取り組む農林漁業者等に対し、段階に応じた支援を行います。
- 農業支援体制を強化し新規就農者の育成・確保を目指します。

(4) 具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)

1 企業や教育機関、公共的機関の移転の誘致による雇用の確保

【重要業績評価指標(KPI)】

対象項目	KPI
女性従業員数	5年間で15人
公共的機関	5年間で1機関
企業の誘致数	5年間で2事業所

【具体的な施策】

施策名	内容
(1) 女性にやさしい空間づくり	主要道路沿いや商店街の空き店舗などで、女性に人気のある店舗等を誘致し、併せて病院、薬局、カフェ、子育て支援施設等を集積し、女性が安心して働ける場所を作ります。
(2) 公共的機関の誘致	国・県・公益財団法人・NPO法人などの公共的機関を誘致します。
(3) 教育・研究開発機関の誘致と連携	農業系などの教育・研究開発機関を誘致します。
(4) 白石町に合う企業の誘致	農村地帯に適合し、農林水産物の加工・販売に関わる企業や、事務系事業所などを誘致します。

※NPO 法人

「Non Profit Organization」の略で、「民間非営利組織」と訳される町民協働のパートナーとして注目されている。

2 新規就農者及び農業後継者の育成・確保

【重要業績評価指標(KPI)】

対象項目	KPI
新規農業従事者数	5年間で150人
しろいし農業塾卒業者の農業従事者数	5年間で20人
農業従事者(被雇用者)数	5年間で25人

【具体的な施策】

施策名	内容
(1)新規農業就業者対策支援	現行新規就農対策の拡充により、就農前の初期投資の負担軽減や就農後一定期間の助成により、新規就農者や後継者の確保を図ります。
(2)しろいし農業塾	町内に就農及び移住してもらうため、首都圏等の大都市や町外から就農希望者を募集し、農業団体等で受入れ、農業研修生として農業全般に従事し、農業の担い手確保と定住促進へ繋がります。
(3)農業従事者(被雇用者)確保対策	農業者等が年間を通じて従事者(町内在住者や移住者)を雇用し、町内の農業の安定的な生産を図るとともに就農するように育成することを積極的に支援します。

3 新しいことへ挑戦する人への積極支援

【重要業績評価指標(KPI)】

対象項目	KPI
起業・創業者数	5年間で5人
6次産品開発件数	5年間で46件
新規農産物数	5年間で3品

【具体的な施策】

施策名	内容
(1)白石町創業者支援制度	町内金融機関等の協力を得て、白石町で起業・創業しようとする個人又は中小企業者の成長性の高い事業計画の実現を支援します。

(2)儲かる農産物の開発	教育・研究開発機関との連携により、女性や高齢者でも作業のできる体力的に負担の少ない農産物の開発を行う人を支援します。
(3)6次産業化の推進	情報発信、販路開拓、補助事業活用などへの相談・指導を行います。
(4)商工業者などへの支援	新商品や新製品の開発、新たな販売促進及び商店街の賑わいづくりに取り組む人への支援を行います。

4 ふるさとで活躍する人材の育成

【重要業績評価指標(KPI)】

対象項目	KPI
Uターン者数	5年間で25人

【具体的な施策】

施策名	内容
(1)“ふるさと学”の推進	町内外の教育機関との連携を含め、町内小中学校での農業、地域の地理歴史及び文化の理解を深め、ふるさとに誇りと愛着を持ってもらい、将来のUターンにつなげていきます。
(2)地元定着の促進	大学、高等学校及び企業等と連携し、町内に居住し、県内で就職する高校生や大学生を増やすための取組を行います。

基本目標②

来てよか、見てよか、食べてよか、住んでよか、しろいし！
～白石への新しいひとの流れをつくる～

(1) 数値目標

【数値目標】

対象項目	数値目標
観光入込客数(道の駅来店者を除く)	平成26年 286,600人/年 ↓ 平成31年 315,200人/年
移住者数	5年間で30人

※観光入込客数
地域を訪れた来訪客のこと。

(2) 現状と課題

- 東京への人口一極集中を是正するために、魅力ある地方への移住希望が多い中、地方がまだその期待に応えきれれていません。白石町もその1つであり、早急な体制の整備が求められています。
- 基本目標①の雇用を確保しながら移住体制を整備することは、極めて重要な課題です。
- また、平成30年度中に開通予定の有明海沿岸道路福富インターチェンジ(仮称)付近に設置予定の道の駅は、新しいひとの流れをつくる起爆剤となる可能性を秘めています。
- 白石町の主要産業である農業を核として、地域経済に活力を生み出すために新しいひとの流れをつくるのが重要です。

(3) めざすべき方向

- 白石町の魅力を発信し、道の駅を拠点として人・モノ・情報を積極的に交流させ、より多くの人に白石町の良さを伝え新しいひとの流れをつくります。
- 都市からの移住希望者に対してワンストップで移住関連情報を提供できる体制を作るとともに、お試し移住や仕事の紹介などきめ細かな支援を行います。
- 移住者が住みやすい受け入れ態勢を作り、「よそ者」目線でまちづくりに貢献してもらうことで地域の活性化を図ります。
- 白石町の観光資源を再認識し、それを結び付けることで観光ルートを設定します。また、農業体験などを盛り込んだグリーンツーリズムなどを周辺市町と連携しながら推進します。
- 地震や水害等災害が少なく、安心して住むことができることをアピールします。

(4) 具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)

1 白石町の魅力発信

【重要業績評価指標(KPI)】

対象項目	KPI
道の駅来店者数	30万人/年間
町ホームページアクセス件数	平成26年 197,700件/年 ↓ 平成31年 237,200件/年

【具体的な施策】

施策名	内容
(1)道の駅整備事業	平成30年度の有明海沿岸道路福富インターチェンジ(仮称)の供用開始に合わせ、町の農水産物・6次産品や観光等の情報発信の拠点として整備します。
(2)がばいよかとこ発信事業	従来の特産物PRに加え、町そのものをマスコミやSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)等多様な手段を用いて発信することで知名度を上げ、特産物や地域資源を通じたファンの確保や移住者に選択してもらえる町としてPRします。

2 定住促進、移住支援

【重要業績評価指標(KPI)】

対象項目	KPI
空き家バンク登録件数	5年間で20件
移住者数	5年間で30人

【具体的な施策】

施策名	内容
(1)農村型新興分譲宅地の創設	有明海沿岸道路へのアクセスが便利な箇所に、区画を大きめに設定し、一部を農園やガーデニング等に用いて楽しめるようなコンセプトの住宅用地を確保整備します。
(2)空き家・空き地バンク、お試し移住	空き家・空き地バンクを創設し、登録された空き家を借り上げてのお試し移住や町民による移住者受入サポーターを設置し移住者の支援を行います。
(3)県外への通勤者への駐車場代の助成	通勤圏を広げてもらうため、駐車場代の助成制度を創設します。

3 地域観光資源の再発見

【重要業績評価指標(KPI)】

対象項目	KPI
観光入込客数	平成26年 286,600人/年 ↓ 平成31年 315,200人/年
観光ルート数	5年間で3本

【具体的な施策】

施策名	内容
(1)広域的なグリーンツーリズム	白石町で1年を通じて農業体験を行い、宿泊は近隣の温泉地や町内での民泊などとし、農業体験のパッケージ旅行の開発を行います。
(2)杵島山系歴史散策コースの設定	杵島山系にある史跡等を観光資源とするため、案内看板等の整備を行い、戦国時代の名将龍造寺隆信などと合せて売り込みます。 また、歌垣公園の花の種類を限定し、ある程度の面積を確保し、アクセス道路や施設の整備を行います。
(3)交通手段の拡充(観光客の利便性の向上)	観光用いこカー(乗り合いタクシー)やレンタサイクルを新設し、町内JR駅を利用した観光客が手軽に町内を観光できるような環境を整備します。
(4)地域資源活用観光振興事業での計画事業の実施	白石町観光推進協議会を設置し、観光ルートの設定と観光パンフレットや観光案内看板、標識を整備します。

※グリーンツーリズム

農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動。

基本目標③

出会いに感謝！目指せ子宝のまち、しろいし！ ～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～

(1)数値目標

【数値目標】

対象項目	数値目標
合計特殊出生率	1.60(H24) → 1.65(H31)
婚活サポート事業による成婚数	5年間で20組

(2)現状と課題

- 核家族化や人口減少、価値観の多様化により本町においても少子化が進行しています。
- 本町の合計特殊出生率は1.60で、県と比較してもほとんど差異はないが、出生数は減少を続けており、平成24(2012)年は184人となっています。
- 保護者の子育てに対するニーズは多様化し、ひとり親家庭なども増加傾向にある中で、就業・育児環境においても多くの課題があります。
- そのため、若者の出会いをプロデュースし、将来の本町を支える子どもたちを産み育てやすい環境を整備することが必要です。

(3)めざすべき方向

- 結婚を希望する男女には出会いの場を、また、希望子ども数を実現できるサービスや子育て支援など安心して出産・子育てができる環境を整備します。
- 定住促進対策と組み合わせた少子化対策と子育て支援、仕事と育児の両立支援など若い世代の結婚・子育ての希望の実現を目指します。
- 子育ての悩みを1人で抱え込まず、相談・共有できる環境や、出産から子どもが就職するまで切れ目のない支援の実現を目指します。
- 特色のある教育環境を整えることで、子どもの個性を最大限に発揮し、次世代を担う人材を育成します。

(4)具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)

1 結婚推進対策の充実

【重要業績評価指標(KPI)】

対象項目	KPI
婚活サポート事業による成婚数	5年間で20組

【具体的な施策】

施策名	内容
(1)婚活サポート事業の拡充	婚活サポーターによる取組に加え、婚活事業に関連する民間企業や個人との連携、イベントや他の市町村との連携など多様な取組を行っていきます。

2 出産支援

【具体的な施策】

施策名	内容
(1)不妊治療制度の拡充	不妊治療への支援を継続し、相談体制の充実を図ります。
(2)多子世帯への助成	3人以上の子どもを持つ世帯の子育てに係る負担軽減措置を実施します。

3 子育て支援

【重要業績評価指標(KPI)】

対象項目	KPI
町内での病児・病後児保育施設数	5年間で1施設

【具体的な施策】

施策名	内容
(1)病児・病後児保育の実施	病児・病後児保育の町内実施に向けた環境整備を行います。
(2)一時預かり事業等の充実	一時預かり事業と育児サロン事業を充実します。

(3)子育て支援の情報発信強化	町内で実施されている子育て支援事業等の情報を集約し発信することで、白石町の魅力を伝えるとともに、子育て世代の不安の軽減を目指します。
(4)子育てに関するワンストップ相談体制の整備	妊娠期から小中学校児童・生徒までワンストップで相談できる窓口を一本化します。(子育て世代包括支援センターなど)
(5)公園施設の充実	白石中央公園、福富マイランド公園、有明スカイパークふれあい郷などの主要公園で、子育て世代の意見を採り入れて、もっと子どもが遊びやすく、他市町村からも人が集まるような魅力のある公園整備を行います。
(6)切れ目のない子育て支援の実施	平成27年度から実施している小学6年生、中学3年生の給食費無償化を継続します。

4 教育環境の整備

【重要業績評価指標(KPI)】

対象項目	KPI
コミュニティ・スクール導入学校数	5年間で11校

【具体的な施策】

施策名	内容
(1)コミュニティ・スクールの導入	現在進めている町内小中学校でのコミュニティ・スクール導入を推進します。

※コミュニティ・スクール

学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域と共にある学校づくり」を進める仕組みのこと。

基本目標④

くらしに豊かさを、地域に絆を、人の温もりを感じるまち、しろいし！
～まちに活力をもたらし、地域をみんなで盛り上げる～

(1) 数値目標

【数値目標】

対象項目	数値目標
地域づくり協議会設置	5年間で8か所

(2) 現状と課題

- 急激な人口減少や高齢化に伴い、様々な課題が地域から出てきています。
- 地域の課題は多種多様で、それぞれが知恵を絞って解決していくことが望まれています。
- 地域にはキーパーソンとなるべき人材が埋もれています。
- 地域の活力を取り戻すためには、地域の誰もが活躍できる社会を実現することが必要です。

(3) めざすべき方向

- 地域住民の積極的な参加の促進により、住民の声を行政に反映できる仕組みを構築します。また、地域の様々な課題に対し、これまでの行政主導ではなく、地域住民が主体となって課題解決に取り組むためのノウハウの習得や人材確保の支援を行います。
- 突発的な自然災害等の対策のための施設や情報共有などの体制を整備します。
- 地域の人々が持つ豊富な経験・知識・文化を後世に継承していくとともに、誰もが生き生きと活躍できる社会を目指します。
- 男女がお互いに人権を尊重しつつ、責任も分かち合い、性別にかかわらず個性と能力を十分に発揮できる社会づくりを目指します。

(4) 具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)

1 町民協働によるまちづくり

【重要業績評価指標(KPI)】

対象項目	KPI
地域づくり協議会の設立数	5年間で8か所
NPO法人の設立数	5年間で3件

※NPO 法人

「Non Profit Organization」の略で、「民間非営利組織」と訳される町民協働のパートナーとして注目されている。

【具体的な施策】

施策名	内容
(1) 地域づくり協議会の設立支援	生活環境など地域の問題を地域住民が主体となって解決するため、地域内の各種団体などで構成する地域づくり協議会(仮称・概ね小学校区単位)の設立を支援します。この地域づくり協議会には、若者や女性の積極的な参画を促します。
(2) NPO法人・CSO活動の支援	NPO法人やCSO活動の設立や活動支援を行うことにより、行政では行き届かないまちづくりや福祉サービスなどの担い手として協働していきます。

※CSO 活動

「Civil Society Organization」(市民社会組織)の略で、NPO 法人、市民活動団体、ボランティア団体に限らず、自治会、婦人会、老人会、PTA などのこと。

2 安全・安心で快適な住みよいまちづくり

【重要業績評価指標(KPI)】

対象項目	KPI
自主防災組織の組織率	5年後に50%

※自主防災組織

地域住民が協力・連携し、災害から「自分たちの地域は自分たちで守る」ために活動することを目的に結成する組織。

【具体的な施策】

施策名	内容
(1) 自主防災組織の組織化推進	自主防災組織の設立により、自助・共助の取組を推進します。

3 誰もが活躍できるまちづくり

【重要業績評価指標(KPI)】

対象項目	KPI
シルバー人材センター年間登録者数	5年後に120人

【具体的な施策】

施策名	内容
(1)生涯現役としての活躍促進	高齢者と区切ることなく誰もが年齢に関わらず活躍し、地域を盛り上げてもらうために、起業・創業、文化活動、自分のやりたい仕事ができる場所づくりなどを促進します。
(2)女性活躍の推進	政策の決定過程など様々なまちづくりに対する女性の参画を促し、合せて女性に配慮した公共施設の整備を行います。
(3)地域団体によるつながり強化	農業、商工業及び漁業団体の女性部同士や青年部同士など横のつながりの強化をはじめとして、各種団体への支援を通して、地域を盛り上げる新しい取り組みを促します。

白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略
～農業と人情のまち“しろいし”が輝き続けるために～

白石町企画財政課白石創生推進係